

- ・コラム「往復書簡」(杉浦 良)
- ・お知らせ(太陽と緑の会は税込価格です、ベネズエラからの見学、松下照美さん活動報告会)
- ・30年の歩み②
- ・協力者名簿／編集後記

「往復書簡」

杉浦 良

「前略。日々大変な活動をされておられることと存じます。平成26年4月4日『櫻の木の下 いのちを想う音』チャリティーライブ(於：般若院)の入場カンパ金を送ります。

総裁であられた三笠宮寛仁親王殿下が薨去され、自身筋ジス患者だった常務理事の山田富也氏も召され、今まで「ありのまま舎」を形創ってきた人たちがいなくなりました。次に繋ぐ人たちの苦勞を想います。継続と同時にその精神の継承となると、システムとしてマニュアル化できるわけではありません。やはり徒弟制度ではありませんが、いろんな立派な方々の後ろ姿を通して学んでいくことの意味を再確認します。私も柳澤寿男監督や太陽と緑の会の創立者近藤文雄の後ろ姿を、沢山見させてもらうことで、今があるように思います。



右 8周年記念感謝セールにて、お客様にコーヒーの無料サービス

左 衣料品の補充(2割引セールのため、いつもより多くの衣料品をリユースにつなげることができました)

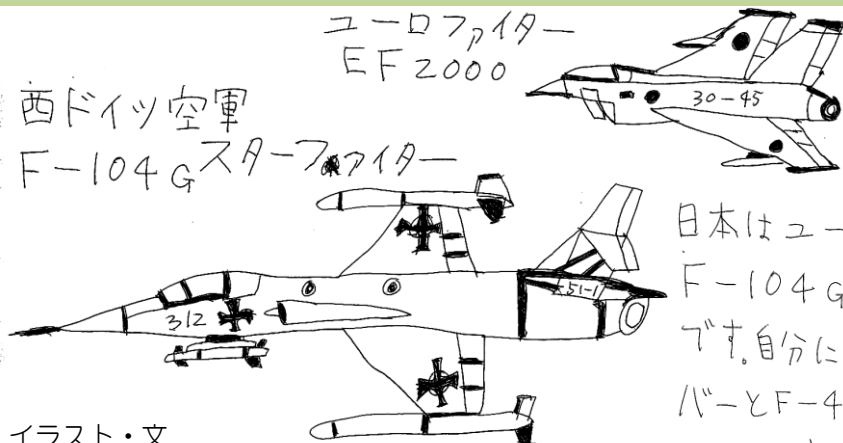
岩沼・亘理町（宮城県）の相談支援センターの設置はありのまま舎にとっても大きな運営的負担を強いることとなるでしょう。ただ、ともすれば自分の所の『利用者』『メンバー』のみを考えがちになる日常に、（東日本大震災という重荷を背負いながら）地域の中で、地域を含めて、地域を生かす活動には、大切な拠点となるように思います。現地の事情も分からず勝手なことを書きましたが、ご自愛頂き、今後の活躍を願っています。草々。」

少し前にこんなことを書かせていただきました。宮城県仙台市にある社会福祉法人「ありのまま舎」（障害者自立企画）への手紙です。

「ありのまま舎」は昭和62年日本で最初の民間自立ホーム（障害者福祉ホーム）を立ち上げ、平成6年には重度障害者・難病ホスピスを建設、平成11年から「ありのまま舎自立大賞」を設立し、様々なハンディーがありながらも自立を模索する方々への表彰事業を展開されています。平成23年3月11日の東日本大震災では、人工呼吸器稼働の自家発電機燃料確保に奔走されたものの大した被害はなく、支援の行き届きにくい在宅難病障害者支援にも、力を入れておられます。

平成23年3月16日の「第1回おおたか静流チャリティーコンサート」（於：般若院）から平成25年10月9日の「第4回おおたか静流チャリティーコンサート」、「櫻の木の下 いのちを想う音」コンサート等を含め、チャリティーコンサート関連で計964,934円。平成23年12月22日から平成25年12月30日まで、太陽と緑の会福祉事業団の支援事業として計1,057,525円（平成23年3月14日の188,780円は日本赤十字社へ）、計2,022,459円を「ありのまま舎」に送ることができました。

「前略。いつも気に留めて頂き、どれほど心強く感謝申し上げているか、言葉がありません。本当に有難く、山田兄弟と近藤先生の縁がこういう形で続いていることを、きっと喜んでくれていることと思います。相談支援センター開設にあたっては、いろんな声がありました。腰をおろした被災地支援には不可欠の取り組みと考えました。決して、楽な運営ではありませんが、確実に地元の皆さんから、温かい声援の声が増えております。事情を察して、励ましのお言葉を頂くと、やって良かったと改めて思います。本当に嬉しいです。まだまだ緒についたばかりですが、一步一步確実に歩みを進めて参りたいと思います。・・・どうかお元気でご活躍下さい。草々。」



イラスト・文
藤田さん

日本はユーロファイターはかおながたです。
F-104Gは迷彩塗装がめずらしいです。自分にとりては西ドイツ空軍のF-86FセイバーとF-4FファントムII迷彩塗装がき
は

お知らせ

太陽と緑の会は、税込価格です

消費税が8%になりました。

太陽と緑の会では4月1日以降も税込価格表示(内税表示)です。

夜遅く従業員総出で価格表示を差し替えた小売店さんもあったようですが、太陽と緑の会は価格の変更(値上げ)はしませんでした。

実質的な値下げとなるため、運営的には厳しくなりますが、消費税増税分はできるだけ経費節約で捻出していく方向で考えています。

今後とも、よろしくお願い致します。

ベネズエラから見学

2月18日午前10時~12時、ベネズエラからJICAの研修(廃棄物管理 1/8-2/21)で来日中の11名の皆様及び中部リサイクル運動市民の会3名の皆様が、太陽と緑の会に見学に来られました。廃棄物・環境行政に携わる方が多く、11人中10人は初来日とのことでした。

スペイン語の通訳を介し、太陽と緑の会の基本コンセプトを説明させて頂きました。質問が相次ぎ(スペイン語による質問→日本語に通訳→杉浦が説明→スペイン語に通訳、という流れになります)、予定の時間を少しオーバーしてしまいましたが、最後に買い物も楽しんで帰って行かれました。



作業所研修会

3月1日午後1時から徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会の研修懇親会が、千秋閣にて行われました。県内の無認可作業所から立ち上げた作業所、事業所等22か所から30人を超える皆さんが集まりました。

海陽町の虹作業所、北島町のちゅうりっぷ、吉野川市のあおぎワークホーム、徳島市のきのこハウスからの実践報告がメインテーマです。

ずっと地域共同作業所で続けてこれながらも、難しいケースを引き受けて悪戦苦闘されるその姿に、何のための福祉か?を考えさせられ、家から通えないメンバーのためのグループホーム作りに尽力される話、少しでも収入を確保するための事業として温泉事業に取り組む話や、メンバーの増加に伴い工賃を確保するために、生産から加工販売まで行う6次化の取り組みなど、色々刺激を受けました。

「こんな時、みなさんのところではどう対処していますか?」と逆に問いかけられる、そんな実践検討会こそ本来の研修でしょう。

松下照美さん 活動報告会

4月18日9時20分から10時まで、子供たちの支援活動を行うモヨ・チルドレンセンター（ケニア）の松下照美さんの活動報告会を、太陽と緑の会事務局にて行いました。

20年前、初めてアフリカのウガンダを訪れた時の子供たちとの出会いに始まり、慣れない英語や慣習に苦勞しながらも2年間かけてN G Oを設立、ストリートの子供たちの支援等を地道に続けて来られました。

N G Oの設立申請にあたり役人から賄賂を要求されて断ったこと、「子どもたちの家」が強盗に入られ6人が重軽傷を負って部屋が血の海になり周囲に高圧電流鉄線のついた高さ3メートルの塀を設置したこと、公立高校の年間の学費が父親の年収並みで進学できない子が大勢いること、など、厳しい現実の話に、作業所のハンディを持ったメンバーも耳を傾けていました。

子供たちが自分の足で立って生きていけるよう、一人ひとりと向き合ってきた松下さんの真摯な生き方が伝わってきました。



大阪から見学

4月5日午後、大阪障害者労働センターの皆さんが見学に来られました。車3台で、翌日6日に那賀町で行われる「さくら祭」に行く途中との事でした。

電動車イスに乗り、ハンディあるメンバーを乗せて、リフトキャブを運転して徳島入りするリーダーに、圧倒されました。

「しっかりここを見て、勉強してよ！買い物だけするんとちゃうよ！」との号令のもと、メンバー達が下りてこられました。

体験実習

3月14日10時～16時、四国学院大学3年生の松田さんが、地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業にて、10時から16時まで活動に参加して下さいました。

昨年末に、四国学院大学(香川県)の富島教授とともに学生さんが10名ほど見学に来られました。その時の学生さんの一人で、年明け後、体験参加を希望されていて、今回実現の運びとなりました。

30年の歩み PART II

平成7年2月 阪神淡路大震災の被災地に贈る放置自転車の修理再生作業に協力。

平成7年6月 剣山クリーンハイクに参加（平成8年にも参加）

平成7年10月 リサイクル推進功労者等表彰にて、リサイクル推進協議会会長賞を受賞

平成8年3月 写真展「ウガンダに生れて」開催に協力

平成8年10月 徳島県エコショップ表彰を受賞

平成10年2月 事務局建物に太陽光発電システムを設置（1.08Kw）

平成10年3月 代表者（創立者）近藤文雄死去。

平成10年5月 徳島県小規模作業所連絡協議会が正式に発足。事務局を太陽と緑の会に置く。

平成10年5月 バングラデシュからフルタイムボランティアを受入（～平成11年2月）

平成10年8月 カウンシル(CIEE)との共催で国際ワークキャンプ開催（平成11年も開催）

平成12年3月 ウェブサイト開設

平成12年5月 NPO法人格取得

平成12年7月 障害者地域共同作業所「太陽と緑の会月の宮作業所」を開所

平成12年8月 夏の体験ボランティア事業（6日間）を開始（以後毎年開催）。

平成13年5月 ゴミゼロの日キャンペーン。鮎喰川河川敷一斉クリーンアップ実施（以後毎年実施）

平成13年7月 徳島県立鴨島商業高校より高校2年生150名の体験ボランティア受入（平成14年も受入）

平成13年8月 月の宮生活棟に太陽熱温水器設置

平成14年11月 とくしま環境賞を受賞、ごみゼロ推進全国大会において表彰

平成16年10月 ウガンダから研修生を受入（～平成17年3月）

平成17年2月 太陽と緑の会事務局・作業所兼店舗建物が火災により全焼。



写真で見る30年④

上 月の宮共同生活棟（平成8年）。建設・運営の費用はすべて自己資金で賄っており、公的資金はゼロ。
下 月の宮生活棟の建設中の様子。奥に見えるのが、月の宮作業所の建物。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2014年2月1日～2014年3月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

匿名、石塚、野々村、大楠、久次米、匿名、檜垣、大楠、匿名

(郵便振替口座にご入金下さった皆様) 太田、瀧倉、黒須、武田、三代田

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○中川、高木、川上、武知、佐藤、渡辺、辻本、湯浅、山口、十川、榎野、一谷、内藤、佐伯、小林、前田、久米川歯科、水川、河野、石原、上田、鳴門屋、渡部、北島、藤井、内田、津田、東、井向、原、西谷、大下、河田、水谷、安田、岸岡、浜、金田、折野、坂東、福田、若林、庄野、宇治製品、玉木、三木、中西、橋本、大賀、佐野、杉山、谷本、本田、パソQ、土肥、市田、富岡医院、松原、サラ、米田、鈴木、高田、宮村、増田、松浦、Dコム、みずほ保育園、米津、竹内、吉川、亀谷、北村、藤本、島、猪俣、戎、村崎、岩本、林、石田、桜井、小川、富島、門田、森上、アムステルダム虹の橋、中森、原田、藤原、島田、堀井、石塚、浅川、西村、豊田、四宮、小倉、藤田、藤永、佐々木、能田、竹岡、松尾、上浦、畠山、阿部、宮本、坂野、篠原、長谷川、木内、古田、富永、新見、三宅、県障害福祉課、新居自転車店、薬師寺、福井、吉崎、加村、大谷、森、上原、金原、元木、高原、四方、多田、横山、井口、岸、谷、赤澤、井上、戎野、山松、鈴江、酒井、西木、尾上、斎藤、長浜、浅見、大塚、松山、村井、大櫛、山田、小松、西尾、坂本、松井、劉、玉置、吉岡、片岡、久保、片、三吉、赤間、飯田、神崎、行本、比嘉、後藤田、木村、大寺、水口、飛鳥、伊澤、宮内、田中、萩原、久米、菅惣、土佐、中村、後藤、矢部、美馬、水田、加納、松崎、岡田、上藤、友成、東口、まるいラーメン屋、柏木、岡、長尾、川地、照本、サンルート徳島、国本、オアシス チヨ、住村、西川、中谷、友竹、岡本、亀井、山本、チケット徳島、福本、高畑、森東、西岡、小西、賀川、太田、田代、鶴島、藤江、井内、キッサ木かげ、逢坂、中野、蜂須賀、鹿兒島、辻、柳井、久次米、宮越、住村、東倉、榎本、荒井、伊川、松田、笠井、河口、立岩、○藍住町○岩本、秦、藤井、森、坂東、豊田、近藤、斎藤、岡田、池本、山花○鳴門市○久龍、富永、麻植、笠井、端村、辻、小川、楠、長野、清水、中谷、後藤、高岡○北島町○大島、中村、深山、井上、結城○石井町○富永、佐古、近藤、谷口、久米、河野、湯村、田中、本庄○小松島市○高瀬、山川、小出、柏尾、内藤、松下、池田、金村○松茂町○春藤○吉野川市○谷、西麻植小学校、坂東、日崎○阿波市○良善、三木、北野、那須○上板町○姫野、磯田、西條○板野町○吉田、楠木

品物を持って来て下さった皆様 (郵送含む)

○徳島市○谷川、小林、都築、山本、田村、石本、田部、西野、中村、荒木、大出、木内、福島、山橋、渡辺、桂、村上、塩田、高橋、橋本、田中、佐々木、象潟、四宮、村崎、原田、岡島、松本、米崎、石原、大北、杉本、島、長尾、多田、中島、門田、アリアンス、フランセーズ徳島、丸中、鈴江、燕原、湯浅、百々、井上、富田、近藤、古川、谷口、武内、加藤、楠原、松本、犬伏、大林、大下、福家、佐藤、中田、斉藤、大西、小泉、真貝、阿部、七條、森本、坂本、藤岡、柳、笠木、荒井、坂東、美島、武市、猪子、岸上、和田、野崎、峯、上山、生田、日下、月華堂、川崎、宮内、島本、吉岡、鶴能、長岡、榎本、丸尾、朝桐、野本、山下、伝住、中川、鏡、松浦、倉崎、芦田、林、梅原、矢野、岩城、森上、高丸、宮城、青木、藤井、赤坂、鈴木、宮田、前田、篠原、前川、大黒、鎌田、上原、滝原、加納、麻植、高松、平田、バヤサカルソ、瀧本、大貝、安田、野口、榎井、谷崎、井原、長野、大栗、渡部、吉見屋タイヤ、藤野、日置、酒巻、妹尾、山田、横田、森、二條、石橋、柳井、増田、為実、秋田、高野、萩原、榎野、高瀬、榎原、美馬、マキ、井内、大野、岡本、河崎、佐賀、脇谷、滝山、大山、豊山、福本、本田、津保、田岡、小島、水間、笹本、濱井、高原、本庄、三原、棚上、土井、黒田、湯川、西川、藤本、河野、大寺、向、長倉、西田、江川、曾川、仲田、久次米、森東、柴田、浜田、児玉、馬場、船下、村田、平石、益田、中山、柏岡、広岡、木下、山口、森脇、田代、真鍋、吉崎、川村、芝井、黒木、榎、岡、藤原、三島、赤羽、友成、富谷、服部、上田、柳生、長楽、曾根、斎藤、藤吉、小笠原、小寺、居守、牧野、宮西、浅川、峯田、天野、須見、横山、山崎、大塚、早淵、領家、奥田、篤田、川野、仲島、伊原、後藤、久島、柏木、高木、柳沢、勝本、清水、東口、畠山、大村、河村、吉本、漆原、大澤、花岡、高濱、辻本、松田、大地、中平、盛、美濃地、大川、溝抗、有井、阿瀬川、佐野、堀岡、小澤、中園、柿内、東條、篠原、内海、田村、庄野、黒川、新居、梶野、出口、柏野、北島、三谷、豊崎医院、平川、玉田、相原、大西、宮脇、森本、森崎、長生、堀金、長浜、岡山、倉津、宇山、為永、平島、七條、小崎、加藤、小松○石井町○大西、

赤石、服部、小杉、堀井、藤本、布施、秋月、田中、中川、松田、永尾、藤重、岡本、吉本、新居、赤石、森本、稲垣、湯村、久米、高田、堀井、佐々木、三木、白井、森野、鳳崎、武田、高橋、井上、藤本、土橋、堀江、河田、横田、吉本、元木○吉野川市○小松、北川、長谷、中西、福田、宮嶋、曾我、原田、田村、工藤、井元、筒井、十川、青木、野々村、滝山、谷、北浦、大石、藤岡、浜、吉田○北島町○萩原、森久、岩木、村田、山本、井上、森澤、佐川、吉田、米田○鳴門市○小田、丸笹、斉藤、水野、小浜、かのん、森井、梶、池上、東、渡辺、山西、宮本、竹原○板野町○賀満田、井上、沖津、吉田、漆原、沖津、高橋○藍住町○赤石、斎川、上村、榎原、伊祁、花木、三好、奥藤、岩脇、藤木、堀内、山本、前川、藤岡、岡本、朝波、小笠原、木下、國金、松尾○阿南市○中西、平尾、篠原、保田、一宮、友成、井上○つるぎ町○阿波市○中川、国田、渡辺、カゾエ、福家、河野、尾形○上板町○東條、三浦、世戸、ダニエル、時廣、宮本○小松島市○宮田、雲井、柿原、江崎、松本、時廣、北野、澤井、藍谷○松茂町○佐々木、広田○美馬市○小川○那賀町○新田○海陽町○神沢○神山町○佐々木○佐那河内村○黒石○香川県○富島、谷口、香川県隣保連絡協議会、原○福岡県○永峰○山口県○安達○兵庫県○服部○千葉県○池田○埼玉県○本田○大阪府○永口○その他○岡室

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の方のご協力を頂いております。また牛丼、ポテトサラダの差し入れをして下さった河野様、みかん、デコポンの差し入れをして下さった多田様にもこの場を借りてお礼申し上げます。頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。



写真で見る 30 年⑥ 太陽と緑の会事務局・作業所兼店舗建物

編集後記～理念的ベースの継承

ある番組で、できることは自分でやってもらう「引き算の介護」というデイサービスの実践が紹介されていました。

現場を経験している方であればイメージしやすいかもしれませんが、「本人にできるかもしれないことも、できないと決めつけて、すべて支援者（介助者）がやってしまう」スタイルの方が、支援者にとっては楽です。

できることを自分でやってもらうためには、事故や失敗など様々なリスクが生じますし、できるかどうかの判断が必要になり、手間や時間もかかります。

また、運営的な面でも、できることが増えると要介護度が下がり、収入が減ってしまうという矛盾が生じます。

その意味ではとても興味深い活動だと思いました。ただ、代表の方が「この取り組みを全国に広めたい」と言われていること、全国3か所に拠点を持っている他、5か所でフランチャイズ展開も行っていることは、少し気になりました。

いわゆる「ノウハウを伝える」といったことが、福祉領域でどれだけ可能なか、若輩者の私にはまだ分かりません。ただ、この60代の代表の方が人生を賭けて培ってこられた「理念と実践」が、別個の人格を持った人にきちんと伝わるには、長い年月が必要なように思います。短期間の研修を行っても、形だけの真似、知識としての理解に終わってしまうかもしれません。

サービスのマニュアル化、標準化が今のトレンドですが、まったく同じようにやったとしても、同じ結果が出るとは限りません。福祉領域では、人間同士の相互作用によって結果が出る、いわば自分自身の生き様や人間としての総合力が試されるからです。

背中を見ながら、時間をかけて、理念的なベースを受け継ぎつつ、それぞれがオリジナルなものを模索していく。もし「全国に広まる」可能性があるとしたら、そのようなイメージでしょうか。言うは易く、行うは難し、ですが…。

(文責・小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立ていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120

徳島県徳島市国府町南岩延107-1

TEL・FAX 088-643-1054（事務局）

088-642-1054（リサイクル）

URL <http://www.t-midori.org/>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎
データ入力・製本・発送 岡田郁子 福住七
サヨ 宇津辰則 走川幸児

年会費：正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703